

## 中国(仮訳)

### 様式1:ニホンウナギの漁獲量(天然水域から採捕したものに限る。)

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギの漁獲量	トン	28.0	19.5	55.0	20.5	21.0	26.5	16.0	14.5	50.0	38.0	
稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	トン											
ウナギ成魚の漁獲量	トン											

**【記入上の留意事項】:**

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲量を記入すること。
- ②シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚のデータの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式2:ニホンウナギの漁獲努力量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギに対する漁獲努力量	許可数											
稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	許可数											
ウナギ成魚に対する漁獲努力量	許可数											

**【記入上の留意事項】:**

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲努力量を記入すること。
- ②漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁船隻数がある。各国・地域の法制度に基づき、適正な単位を選択して記入すること。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲努力量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式3:ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	トン	8.0	7.0	45.0	9.3	8.2	16.5	3.5	3.0	36.0	33.0	
国産種苗	トン				9.3	8.2	16.5	3.5	3.0	36.0	33.0	
輸入種苗	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ	トン	14.5	20.0	32.0	35.5	39.5	36.0	33.0	33.5	35.0	29.0	
bicolor	トン	5.5	7.0	13.5	3.5	8.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
anguilla	トン	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	5.0	4.0	2.5	2.0	0.0	
rostrata	トン	9.0	13.0	18.5	32.0	27.0	28.0	29.0	31.0	33.0	29.0	
marmorata	トン											
mossambica	トン											
合計	トン	22.5	27.0	77.0	44.8	47.7	52.5	36.5	36.5	71.0	62.0	

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の池入れ量を記入すること。
- ②ニホンウナギについては、国産種苗及び輸入種苗別にウナギ種苗の池入れ量を記入すること。
- ③ただし、「ウナギ種苗の池入れ量」は、各国・地域内の他の養殖池からのウナギ種苗の移転は含まない。
- ④ウナギ種苗の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ⑤該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ⑥ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ池入れ量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

## 様式4:ウナギの養殖生産量

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	トン	8,000.0	12,000.0	11,000.0	14,000.0	16,000.0	16,000.0	18,000.0	14,000.0	14,000.0	28,000.0	
ニホンウナギ以外の種のウナギ	トン	32000.0	30000.0	35000.0	42000.0	50000.0	52000.0	57000.0	65000.0	68000.0	64000.0	
bicolor	トン	1,000.0	2,000.0	2,000.0	3,000.0	1,000.0	1,000.0					
anguilla	トン	22,000.0	15,000.0	16,000.0	15,000.0	13,000.0	12,000.0	12,000.0	8,000.0	5,000.0	3,000.0	
rostrata	トン	9,000.0	13,000.0	17,000.0	24,000.0	36,000.0	39,000.0	45,000.0	57,000.0	63,000.0	61,000.0	
marmorata	トン											
mossambica	トン											
合計	トン	40000.0	42000.0	46000.0	56000.0	66000.0	68000.0	75000.0	79000.0	82000.0	92000.0	

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の養殖生産量を記入すること。
  - ②養殖生産量の単位は、可能な限り重量とする(トン)。
  - ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
  - ④ウナギの養殖生産量データの対象期間は西暦とする。
- 脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

## 様式5:養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ養殖産業の規模	経営体数	465	558	687	696	772	797	830	868	918	925	

### 【記入上の留意事項】:

- ①養殖産業の規模の単位の例としては、経営体数又は養殖池の面積がある。
  - ②該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- 脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式6: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン											
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ	シラスウナギ	トン	14.5	20.0	32.0	35.5	39.5	36.0	33.0	33.5	35.0	29.0	
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン	14.5	20.0	32.0	35.5	39.5	36.0	33.0	33.5	35.0	29.0	

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸入)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ種苗の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式7: ウナギ及びウナギ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式8: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出

種	タイプ・サイズ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	19.0	14.0	9.5	10.0	11.2	12.8	10.0	11.5	8.0	5.0	
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン	19.0	14.0	9.5	10.0	11.2	12.8	10.0	11.5	8.0	5.0	
ニホンウナギ以外の種のウナギ種	シラスウナギ	トン											
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン											

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出量を記入すること。
  - ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸出)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年12月1日から20XX+1年11月30日を意味する)とする。
  - ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
  - ④単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。
- 脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式9: ウナギ及びウナギ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン	36,398.0	33,917.0	35,001.0	40,295.0	41,426.0	42,357.0		46,732.0	52,432.0	69,917.0	
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ	生きたうなぎ	トン	3,846.0	5,295.0	5,818.0	5,562.0	6,219.0	6,781.0		7,508.0	9,630.0	10,107.0	
	蒲焼き	トン	32,552.0	28,622.0	29,183.0	34,733.0	35,207.0	35,576.0		39,224.0	42,802.0	59,810.0	

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸出のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

**様式10. 自国・地域におけるニホンウナギのシラスウナギ・稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の平均的な重量及び体長**

	単位	漁獲時	池入れ時	輸入時	輸出時
シラスウナギ	重量(g)				
	体長(cm)				
稚ウナギ(クロコ)	重量(g)				
	体長(cm)				
ウナギ成魚	重量(g)				
	体長(cm)				

**【記入上の留意事項】:**

- ①シラスウナギ、ウナギ稚魚及びウナギ成魚別の重量及び全長を入力すること。
  - ②データは平均値や一定範囲の値(例:〇〇~〇〇)を入力することができる。平均値を入力できる場合は、①の平均重量及び体長の数値が、生物学的な基準又は行政上の基準又は業界団体等からの聞き取り等による数字であることを脚注に明記すること。
  - ③ 該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力する。
  - ④「体長」とは吻端から尾骨の後縁までの長さをいう。
- 脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

●データの出典・収集又は算出方法(※様式1から様式10に記入したデータの出典等について記入。)

1. シラスウナギの漁獲量	毎漁期(10月から翌年5月)のシラスウナギの池入れ量に輸出量を足して算出された地方養鰻団体による見積もり。
2. 稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	-
3. ウナギ成魚の漁獲量	中国ではウナギ成魚の漁獲がない。
4. シラスウナギに対する漁獲努力量	
5. 稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	-
6. ウナギ成魚に対する漁獲努力量	中国ではウナギ成魚の漁獲がない。
7. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量	主なウナギ生産地方の地方養鰻団体による見積もり。
8. ウナギの養殖生産量	主なウナギ生産地方の地方養鰻団体による見積もり。
9. ニホンウナギ養殖産業の規模	主なウナギ生産地方の地方養鰻団体による見積もり。
10. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入	中国漁業協会出版・編集「中国海産物輸出入」から引用。



11. ウナギ及びウナギ製品の輸入	中国漁業協会出版・編集「中国海産物輸出入」から引用。
12. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出	中国漁業協会出版・編集「中国海産物輸出入」から引用。
13. ウナギ及びウナギ製品の輸出	中国漁業協会出版・編集「中国海産物輸出入」から引用。
14. ニホンウナギの平均的な重量及び体長	

## 日本(仮訳)

### 様式1:ニホンウナギの漁獲量(天然水域から採捕したものに限る。)

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギの漁獲量	トン	9.0	5.2	17.4	15.3	13.6	15.5	8.9	3.7	17.1	11.3	8.3(*1)
稚ウナギ(クロコ)の漁獲量(*2)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚の漁獲量(*3)	トン	165	135	112	70	71	71	69	66	66	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲量を記入すること。
- ②シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚のデータの対象期間は西暦とする。

#### ○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

- \*1 2021-2022年漁期のシラスウナギの漁獲量のデータは、11月1日から翌年3月31日までの値。  
 \*2 稚ウナギ(クロコ)の漁獲量のデータに関する統計情報はない。  
 \*3 ウナギ成魚の漁獲量のデータは、2019-20年が最新値。

### 様式2:ニホンウナギの漁獲努力量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギに対する漁獲努力量	許可数	6,669	6,781	6,617	4,698	4,398	4,790	5,874	5,898	5,762	5,723	4,467
稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量(*4)	許可数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚に対する漁獲努力量(*5)	許可数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲努力量を記入すること。
- ②漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁船隻数がある。各国・地域の法制度に基づき、適正な単位を選択して記入すること。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲努力量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚データの対象期間は西暦とする。

#### ○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

- \*4 稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量のデータに関する統計情報はない。  
 \*5 ウナギ成魚に対する漁獲努力量に関する統計情報はない。

### 様式3:ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22(*6)
ニホンウナギ	トン	15.9	12.6	27.1	18.3	19.7	19.6	14.2	15.2	20.1	18.3	13.8
国産種苗	トン	9.0	5.2	17.4	15.3	13.6	15.5	8.9	3.7	17.1	11.3	8.3
輸入種苗	トン	6.9	7.4	9.7	3.0	6.1	4.1	5.2	11.5	3.0	7.0	5.5
ニホンウナギ以外の種のウナギ(*7)												
bicolor												
anguilla	トン	0.43	1.30	3.50	0.05	0.20	0.10	0.03	0.10	0.06	0.06	0.04
rostrata												
marmorata												
mossambica												
合計	トン	16.3	13.9	30.6	18.3	19.9	19.7	14.2	15.3	20.2	18.4	13.8

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の池入れ量を記入すること。
- ②ニホンウナギについては、国産種苗及び輸入種苗別にウナギ種苗の池入れ量を記入すること。
- ③ただし、「ウナギ種苗の池入れ量」は、各国・地域内の他の養殖池からのウナギ種苗の移転は含まない。
- ④ウナギ種苗の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ⑤該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ⑥ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ池入れ量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*6 2021-2022年漁期のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量データは11月1日から3月31日までの値。

\*7 ニホンウナギ以外の種のウナギの池入れ量は種の区別なく合算値で集計してきたが、2022-23以降からは種別の池入れ量が把握可能。

### 様式4:ウナギの養殖生産量(\*8,9)

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ	トン											
bicolor	トン											
anguilla	トン	17,377	14,204	17,627	20,119	18,907	20,979	15,111	17,071	16,806	-	-
rostrata	トン											
marmorata	トン											
mossambica	トン											
合計	トン	17,377	14,204	17,627	20,119	18,907	20,979	15,111	17,071	16,806	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の養殖生産量を記入すること。
- ②養殖生産量の単位は、可能な限り重量とする(トン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギの養殖生産量データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*8 ウナギの種別に分けて統計調査を行っていないため、養殖ウナギとしての合算値。

\*9 ウナギの養殖生産量のデータは、2020年が最新値。

## 様式5:養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012(*10)	2013	2014(*10)	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ養殖産業の規模	経営体数	-	384	-	439	441	463	460	456	442	436	433

### 【記入上の留意事項】:

- ①養殖産業の規模の単位の例としては、経営体数又は養殖池の面積がある。
- ②該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*10 2012年及び2014年のデータに関する統計情報はない。(2013年のデータについては、5年毎に農林水産省が公表している「漁業センサス」から引用。2015年以降のデータについては、2015年に施行された内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたニホンウナギ養殖業者の数。)

## 様式6: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22(*12)
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン											
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ	シラスウナギ	トン											
	稚ウナギ(クロコ)	トン											
合計		トン											
総合計(*11)		トン	9.2	10.7	12.5	3.6	7.6	4.8	5.3	12.6	3.9	10.2	5.7

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸入)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ種苗の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*11 ウナギの種別や、シラスウナギと稚ウナギ(クロコ)に分けて統計調査を行っていないため、それらがすべて包含される統計コードである03.01.92.100(活魚-うなぎ(うなぎ類)-養殖用稚魚)の値を採用。

\*12 2021-2022年漁期のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入のデータは、11月1日から3月31日までの値。

## 様式7: ウナギ及びウナギ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(*14)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン	19,660.9	18,257.7	20,213.7	31,156.1	31,469.3	32,293.5	33,236.3	31,409.8	34,342.8	42,366.8	11,322.1
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ(*13)	生きたうなぎ	トン	4,677.6	4,789.2	4,781.1	7,066.7	7,276.1	6,815.7	8,812.7	6,733.2	5,441.1	7,034.5	1,656.8
	蒲焼き	トン	14,983.3	13,468.5	15,432.7	24,089.4	24,193.2	25,477.8	24,423.6	24,676.6	28,901.7	35,332.3	9,665.3

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*13 ウナギの種別に分けて統計調査を行っていないため、それらがすべて包含される統計コードである03.01.92.200(活魚-うなぎ(うなぎ類)-その他)及び1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)の値を採用。

\*14 2022年のウナギ及びウナギ製品の輸入データは、1月1日から3月31日までの値。

## 様式8: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出

種	タイプ・サイズ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ(*15)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-
	稚ウナギ(クロコ)(*16)	トン	5.7	1.6	6.7	1.3	0.4	0.9	2.6	10.1	23.6	9.1	-
合計		トン	5.7	1.6	6.7	1.3	0.4	0.9	2.6	10.1	23.6	9.2	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ種	シラスウナギ(*15)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	稚ウナギ(クロコ)(*16)	トン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
合計		トン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸出)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年12月1日から20XX+1年11月30日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*15 シラスウナギの輸出データは、日本国内の養殖場において一度も飼育されていない、1尾13g以下のうなぎの稚魚の輸出量。2020-21が最新値。1976年から2021年1月までは1尾13g以下のうなぎの稚魚(シラスウナギ)の輸出を禁止していたため、2011-12から2019-20におけるシラスウナギの輸出データに関する統計情報は無い。

\*16 稚ウナギ(クロコ)の輸出データは、日本国内の養殖場において飼育されたことのある、1尾13g以下のうなぎの稚魚の輸出量。2020-21が最新値。

## 様式9: ウナギ及びウナギ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(*18)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン	31.6	32.1	69.6	59.6	71.0	112.2	66.5	80.4	135.2	85.9	15.2
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ(*17)	生きたうなぎ	トン	10.4	2.2	38.8	20.7	25.8	45.6	7.4	17.8	44.8	17.0	1.4
	蒲焼き	トン	21.2	30.0	30.9	38.9	45.2	66.6	59.1	62.6	90.4	68.9	13.8

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸出のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*17 ウナギの種別に分けて統計調査を行っていないため、それらがすべて含まれる統計コードは03.01.92.000(活魚-うなぎ(うなぎ類))と、1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)の値を採用。

\*18 2022年のウナギ及びウナギ製品の輸出データは、1月1日から3月31日までの値。

## 様式10. 自国・地域におけるニホンウナギのシラスウナギ・稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の平均的な重量及び体長

	単位	漁獲時(*19)	池入れ時(*20)	輸入時(*21)	輸出時(*22)
シラスウナギ	重量(g)	0.2g	-	-	~13g
	体長(cm)(*23)	6cm	-	-	-
稚ウナギ(クロコ)	重量(g)	0.2g~13g	-	-	~13g
	体長(cm)(*23)	6cm~20cm	-	-	-
ウナギ成魚	重量(g)	300g~	-	-	-
	体長(cm)(*23)	50cm~	-	-	-

### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、ウナギ稚魚及びウナギ成魚別の重量及び全長を入力すること。
- ②データは平均値や一定範囲の値(例:○○~○○)を入力することができる。平均値を入力できる場合は、①の平均重量及び体長の数値が、生物学的な基準又は行政上の基準又は業界団体等からの聞き取り等による数字であることを脚注に明記すること。
- ③ 該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力する。
- ④「体長」とは吻端から尾骨の後縁までの長さをいう。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*19 重量と全長の実測値に基づく、発育期ごとの漁獲時の推定値

\*20 池入れ時の重量及び全長の情報はない。

\*21 輸入時の重量及び全長の情報はない。

\*22 輸出貿易管理令で定めている「うなぎの稚魚」については重量で管理しているため、全長に関する統計情報はない。

\*23 「体長」の代わりとして尾鰭を含めた「全長」を採用。

●データの出典・収集又は算出方法（※様式1から様式10に記入したデータの出典等について記入。）

1. シラスウナギの漁獲量	内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたウナギ養殖業者から報告されたシラスウナギの池入数量から、シラスウナギの輸入数量（各漁期の値を貿易統計から算出）を引いて漁期（前年の12月から4月）毎に算出。
2. 稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	—
3. ウナギ成魚の漁獲量	農林水産省が編さん・刊行した「漁業・養殖業生産統計」から引用したデータ。この統計のデータには、主要河川及び湖沼の漁協と全国の養殖業者に対する、漁獲・養殖生産についての質問表に由来の値が含まれる。
4. シラスウナギに対する漁獲努力量	シラスウナギに対する漁獲努力量の指標は、許可発給の権限を有する各都府県から得られた許可数の合計。
5. 稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	—
6. ウナギ成魚に対する漁獲努力量	—
7. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量	内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたウナギ養殖業者からの報告に基づき記載。国産種苗については、内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたウナギ養殖業者から報告された池入数量から貿易統計から算出した輸入数量を差し引いた値。輸入種苗については、各漁期の値を貿易統計から算出。
8. ウナギの養殖生産量	農林水産省が編さん・刊行した「漁業・養殖業生産統計」から引用。
9. ニホンウナギ養殖産業の規模	養殖産業の規模の指標は、ウナギ養殖業の経営体数。2013年のデータについては、5年毎に農林水産省が公表している「漁業センサス」から引用。2015年以降のデータについては、2015年に施行された内水面漁業の振興に関する法律に基づき農林水産大臣の許可を受けたニホンウナギ養殖業者の数。
10. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.100(活魚-うなぎ(うなぎ類)-養殖用稚魚)。
11. ウナギ及びウナギ製品の輸入	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.200(活魚-うなぎ(うなぎ類)-その他)と、1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)。蒲焼きの量は、調整品の量を0.6で割り、全魚体重として算出。

12. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出	輸出業者から提出された、うなぎ稚魚の尾数又は重量の輸出実績報告書及び通関実績から引用。
13. ウナギ及びウナギ製品の輸出	財務省が編さん・刊行した「貿易統計」から引用したデータ。統計コードは03.01.92.000(活魚-うなぎ(うなぎ類))と、1604.17.000(調整又は保存に適した処理をしたもの。キャビア及び魚卵から調整したキャビア代用品)。蒲焼きの量は、調整品の量を0.6で割り、全魚体重として算出。
14. ニホンウナギの平均的な重量及び体長	シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ)の輸出時の重量は、輸出貿易管理令で定めている値から引用。シラスウナギ・稚ウナギ(クロコ)・成魚の重量及び全長は、重量と全長の実測値に基づき、発育期ごとに推定。



## 韓国(仮訳)

### 様式1: ニホンウナギの漁獲量(天然水域から採捕したものに限る。)

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギの漁獲量	トン	1.5	1.0	5.5	4.7	1.8	2.7	1.0	0.6	4.5	3.2	2.2
稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚の漁獲量	トン	102	73	80	85	70	48	56	60	59	84	9

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲量を記入すること。
- ②シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚のデータの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式2: ニホンウナギの漁獲努力量(\*1)

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22(*2)
シラスウナギに対する漁獲努力量	許可数(又は漁業者数、漁船数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	許可数(又は漁業者数、漁船数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚に対する漁獲努力量	許可数(又は漁業者数、漁船数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲努力量を記入すること。
- ②漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁船隻数がある。各国・地域の法制度に基づき、適正な単位を選択して記入すること。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲努力量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*1 韓国では種によって許可数の管理を行っていないため、関連データはない。

\*2 2021年におけるシラスウナギすくい網漁業とウナギ漁業全体の許可件数は、それぞれ555及び732であり、無差別採捕を禁止している。

### 様式3:ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	トン	3.6	3.0	13.9	7.4	9.3	10.6	5.3	1.3	10.4	8.1	7.2
国産種苗	トン	1.5	1.0	5.5	4.7	1.8	2.7	1.0	0.6	4.5	3.2	2.2
輸入種苗	トン	2.1	2.0	8.4	2.7	7.5	7.9	4.3	0.7	5.9	4.9	5
ニホンウナギ以外の種のウナギ		5.9	13.2	2.9	5.1	3.7	0.6	3.7	0.2	0.7	0.5	0
bicolor		3.5	5.8	2.2	4.9	3	0.55	3.5	0.05	0.7	0.5	0
anguilla	トン	0.2	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0
rostrata		0.5	5.6	0	0.2	0.7	0.05	0.2	0.15	0	0	0
marmorata		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
mossambica		1.7	1.8	-	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	トン	9.5	16.2	16.8	12.5	13.0	11.2	9.0	1.5	11.1	8.6	7.2

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の池入れ量を記入すること。
- ②ニホンウナギについては、国産種苗及び輸入種苗別にウナギ種苗の池入れ量を記入すること。
- ③ただし、「ウナギ種苗の池入れ量」は、各国・地域内の他の養殖池からのウナギ種苗の移転は含まない。
- ④ウナギ種苗の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ⑤該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ⑥ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ池入れ量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

### 様式4:ウナギの養殖生産量(\*3)

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
bicolor	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
anguilla	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rostrata	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
marmorata	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
mossambica	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	トン	4,259.0	5,149.0	5,631.0	9,009.0	9,836.0	11,095.0	10,530.0	10,885.0	9,724.0	15,678.0	2,807.0

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の養殖生産量を記入すること。
- ②養殖生産量の単位は、可能な限り重量とする(トン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギの養殖生産量データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*3 以前までの養鰻水協のデータの代わりに、統計法に基づく韓国統計「漁業生産の最近の動向調査」を採用。

### 様式5:養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(*4)
ニホンウナギ養殖産業の規模	経営体数	524	532	536	564	542	555	558	558	572	616	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①養殖産業の規模の単位の例としては、経営体数又は養殖池の面積がある。
- ②該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*4 2021年12月時点のデータであるため、2022年のデータはない。2022年のデータは入手され次第更新される。

## 様式6: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	2.1	2.0	8.4	2.0	7.6	7.9	4.3	1.9	7.0	4.9	5.0
	稚ウナギ(クロコ)	トン	0	0.2	5.6	3.6	3.4	0	11.4	8.4	2.1	21.5	1.9
合計		トン	2.1	2.2	14.00	5.6	11.0	7.9	15.7	10.3	9.1	26.4	6.9
ニホンウナギ以外の種のウナギ	シラスウナギ	トン	5.6	13.9	3.2	5.1	3.5	0.7	3.7	3.0	0.7	1.3	1.1
	稚ウナギ(クロコ)	トン	1.2	37.7	1.3	8.3	18.1	6.2	14.2	13.6	5.3	4.3	0.3
合計		トン	6.8	51.6	4.5	13.4	21.6	6.9	17.9	16.6	6.0	5.6	1.4

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸入)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ種苗の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):シラスウナギ≤0.3g、0.3g<稚ウナギ(クロコ)≤30g、0.3g<稚ウナギ(クロコ(ニホンウナギ))≤15g

## 様式7: ウナギ及びウナギ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン											
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ(*5)	生きたうなぎ	トン	137.7	837.0	1,358.8	799.2	615.9	740.6	1,011.9	574.7	2,539.2	1,337.4	1,120.6
	冷凍	トン	26.9	43.2	38.3	26.1	63.7	42.1	71.8	55.5	25.3	25.3	24.0
	冷蔵	トン	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	蒲焼き	トン	69.2	66.7	69.6	183.9	308.8	583.9	757.8	784.6	906.9	1,257.3	455.5
	合計	トン	233.9	946.9	1,466.8	1,009.2	988.4	1,366.6	1,841.8	1,414.8	3,471.4	2,620.0	1,600.1

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*5 種別のデータはない。

### 様式8: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出

種	タイプ・サイズ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ	キログラム 又はトン											
	稚ウナギ(クロコ)	キログラム 又はトン											
合計		キログラム 又はトン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ種	シラスウナギ	キログラム 又はトン											
	稚ウナギ(クロコ)	キログラム 又はトン											
合計		キログラム 又はトン											
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ(*6)	シラスウナギ(*7)	キログラム	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,920.0	5,712.0	0.0
	稚ウナギ(クロコ)(*8)	キログラム	0.0	0.0	3,262.0	0.0	138.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	キログラム	0.0	0.0	3,312.0	0.0	138.0	0.0	0.0	0.0	1,920.0	5,712.0	0.0

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する.):

\*6 種別のデータはない。

\*7 シラスウナギ(養殖用):0.3g未満

\*8 稚ウナギ(クロコ)(養殖用):0.3gより大きく、50g未満

## 様式9: ウナギ及びウナギ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン											
	蒲焼き	トン											
ニホンウナギ以外の種のウナギ		トン											
		トン											
合計		トン											
ニホンウナギ/ニホンウナギ以外の種のウナギ(*9)	生きたうなぎ	トン	79.9	2.3	0.1	0.4	0.0	19.4	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0
	冷凍	トン	11.1	1.1	0.0	0.1	2.1	23.8	25.2	0.3	1.0	1.0	0.1
	冷蔵	トン	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.2	1.0	0.0
	蒲焼き	トン	0.1	7.3	0.3	1.4	3.3	1.1	4.2	5.9	4.7	42.3	15.0
	合計	トン	91.2	10.7	0.4	2.0	5.4	44.3	30.2	6.2	6.5	44.3	15.1

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸出のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*9 種別のデータはない。

様式10. 自国・地域におけるニホンウナギのシラスウナギ・稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の平均的な重量及び体長

	単位	漁獲時(*10)	池入れ時(*10)	輸入時	輸出時
シラスウナギ	重量(g)	0.2g	0.2g	<= 0.3g	シラスウナギ(養殖用)<0.3g
	体長(cm)	5~7cm	5~7cm		
稚ウナギ(クロコ)	重量(g)	0.3g~199g		0.3g<稚ウナギ(クロコ)<=30g 0.3g<稚ウナギ(クロコ)(ニホンウナギ)<=15g	0.3g<稚ウナギ(クロコ)(養殖用)<50g
	体長(cm)	8~59cm			
ウナギ成魚	重量(g)	above 200g			
	体長(cm)	above 60cm			

【記入上の留意事項】:

①シラスウナギ、ウナギ稚魚及びウナギ成魚別の重量及び全長を入力すること。

②データは平均値や一定範囲の値(例:○○~○○)を入力することができる。平均値を入力できる場合は、①の平均重量及び体長の数値が、生物学的な基準又は行政上の基準又は業界団体等か

③ 該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力する。

④「体長」とは吻端から尾骨の後縁までの長さをいう。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*10 データは養鰻水協から提出された統計によるものであり、法的根拠はない。

●データの出典・収集又は算出方法(※様式1から様式10に記入したデータの出典等について記入。)

1. シラスウナギの漁獲量	養鰻水協及び韓国海事機関漁業モニタリングセンターのデータ
2. 稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	該当なし
3. ウナギ成魚の漁獲量	韓国統計「漁業生産の最近の動向調査」
4. シラスウナギに対する漁獲努力量	該当なし
5. 稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	該当なし
6. ウナギ成魚に対する漁獲努力量	該当なし
7. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量	養鰻水協及び韓国海事機関漁業モニタリングセンターのデータ
8. ウナギの養殖生産量	韓国統計「漁業生産の最近の動向調査」(種別の管理は行っていない)
9. ニホンウナギ養殖産業の規模	地方行政区
10. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入	国立水産物品質管理サービス
11. ウナギ及びウナギ製品の輸入	韓国農漁業・食料取引情報(KATI)による貿易統計



12. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出	韓国国際貿易協会
13. ウナギ及びウナギ製品の輸出	韓国農業漁業・食品貿易情報(KATI)による貿易統計
14. ニホンウナギの平均的な重量及び体長	養鰻水協及び韓国海事機関漁業モニタリングセンターのデータ

## チャイニーズ・タイペイ(仮訳)

### 様式1:ニホンウナギの漁獲量(天然水域から採捕したものに限る。)

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギの漁獲量	トン	1.91	0.96	8.25	1.1	3.06	4.5	1.1	2.75	5.2	6.0	1.6(*1)
稚ウナギ(クロコ)の漁獲量(*2)	キログラム又はトン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚の漁獲量(*2)	キログラム又はトン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲量を記入すること。
- ②シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚のデータの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*1 2021-2022年漁期のシラスウナギの漁獲量のデータは、11月1日から翌年3月20日までの速報値。

\*2 チャイニーズ・タイペイには稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の漁獲量のデータに関する統計はない。

### 様式2:ニホンウナギの漁獲努力量

項目	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
シラスウナギに対する漁獲努力量	許可数	-	213	232	250	245	251	272	311	363	374	364
稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量(*3)	許可数(漁業者数又は漁船隻数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウナギ成魚に対する漁獲努力量(*3)	許可数(漁業者数又は漁船隻数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①シラスウナギ、稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚別の漁獲努力量を記入すること。
- ②漁獲努力量の単位の例としては、許可数、漁業者数又は漁船隻数がある。各国・地域の法制度に基づき、適正な単位を選択して記入すること。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④シラスウナギ及び稚ウナギに関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギの漁獲努力量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。ウナギ成魚データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*3 チャイニーズ・タイペイには稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚に対する漁獲努力量のデータに関する統計はない。

様式3:ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量(\*4)

種	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22(*5)
ニホンウナギ	キログラム	2,210	1,510	12,500	2,800	3,600	7,300	1,030	834	8,144	4,558	606
国産種苗	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸入種苗	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ	キログラム	5,500	10,000	1,450	200	80	100	50	141	124	114	25
bicolor	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
anguilla	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rostrata	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
marmorata	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
mossambica	キログラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	キログラム	7,710	11,510	13,950	3,000	3,680	7,400	1,080	975	8,267	4,672	631

【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の池入れ量を記入すること。
- ②ニホンウナギについては、国産種苗及び輸入種苗別にウナギ種苗の池入れ量を記入すること。
- ③ただし、「ウナギ種苗の池入れ量」は、各国・地域内の他の養殖池からのウナギ種苗の移転は含まない。
- ④ウナギ種苗の単位は、可能な限り重量とする(キログラム又はトン)。
- ⑤該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ⑥ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ池入れ量)は、シラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズンとする(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*4 チャイニーズ・タイペイのウナギ養殖産業は複数の飼育段階や種苗の保管期間が長いなど特徴的であるため、合算値を入力。

\*5 2021-2022年漁期の池入れ量データは11月1日から4月30日までの速報値。

#### 様式4:ウナギの養殖生産量(\*6)

種	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*7)	2022
ニホンウナギ	トン	2,244	1,500	1,675	5,187	4,658	3,665	4,134	3,526	1,681	5,093	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ	トン	-	404	228	394	154	81	142	142	167	151	-
bicolor	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
anguilla	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
rostrata	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
marmorata	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
mossambica	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	トン	2,244	1,904	1,903	5,581	4,812	3,746	4,276	3,668	1,848	5,244	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の養殖生産量を記入すること。
- ②養殖生産量の単位は、可能な限り重量とする(トン)。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギの養殖生産量データの対象期間は西暦とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*6 チャイニーズ・タイペイのウナギの養殖生産統計は「ニホンウナギ」と「ニホンウナギ以外の種のウナギ」に分けて地方行政区によって報告されるため、合算値を入力。

\*7 2021年のウナギの養殖生産量のデータは速報値。

#### 様式5:養殖に関するその他のデータ

項目	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021(*8)	2022
ニホンウナギ養殖産業の規模	養殖場の面積(ヘクタール)	449	305	456	391	392	409	341	241	317	448	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①養殖産業の規模の単位の例としては、経営体数又は養殖池の面積がある。
- ②該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*8 2021年の養殖場の面積(ヘクタール)は速報値。

## 様式6: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入(\*9)

種	タイプ・大きさ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22(*10)
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	1.32	0.66	2.00	0.60	0.40	0.70	0.88	0.13	2.23	0.52	0.05
	稚ウナギ(クロコ)	トン	0.51	0.71	4.30	0.10	0.80	2.00	0.09	0.06	7.85	1.27	-
合計		トン	1.8	1.4	6.3	0.7	1.2	2.7	1.0	0.2	10.1	1.8	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ(*11)	シラスウナギ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	稚ウナギ(クロコ)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸入)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ種苗の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*9 CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。

\*10 2021-2022漁期のウナギ種苗の輸入データは1月1日から3月31日までの値。

\*11 財政部関務署の統計及びCCC(輸出入品分類)コードによると「ニホンウナギ以外の種のウナギ」の統計はない。

## 様式7: ウナギ及びウナギ製品の輸入

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(*12)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	蒲焼き	トン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	6.5	0.0	0.0	188.6	37.7	0.04
ニホンウナギ以外の種のウナギ(*13)	生きたうなぎ	トン	10.7	7.7	28.3	4.5	0.6	3.3	2.2	4.2	0.0	0.0	-
		トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		トン	11.0	7.7	28.3	4.5	0.9	14.1	2.2	4.2	314.3	62.9	0.04

### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸入量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸入のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*12 2022年のウナギ及びウナギ製品の輸入データは1月1日から3月31日までの値。

\*13 財政部関務署の統計及びCCC(輸出入品分類)コードによると「ニホンウナギ以外の種のウナギ」の「蒲焼き」の統計はない。

### 様式8: ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出(\*14)

種	タイプ・サイズ	単位	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
ニホンウナギ	シラスウナギ	トン	0.87	0.10	0.15	0.00	0.00	0.00	0.26	0.00	0.00	0.23	-
	稚ウナギ(クロコ)	トン	0.40	0.02	0.01	0.00	0.10	0.00	2.89	0.07	1.06	5.39	-
合計		トン	1.27	0.12	0.16	0.00	0.10	0.00	3.15	0.07	1.06	5.62	-
ニホンウナギ以外の種のウナギ(*15)	シラスウナギ	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	稚ウナギ(クロコ)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別のウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ種苗に関するデータの対象期間(シラスウナギ及び稚ウナギ輸入)はシラスウナギ及び稚ウナギの採捕シーズン(「20XX-XX+1」は、20XX年11月1日から20XX+1年10月31日を意味する)とする。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*14 CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。

\*15 財政部関務署の統計及びCCC(輸出入品分類)コードによると「ニホンウナギ以外の種のウナギ」の統計はない。

### 様式9: ウナギ及びウナギ製品の輸出

種	タイプ・大きさ	単位	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022(*16)
ニホンウナギ	生きたうなぎ	トン	1,362.7	866.8	891.6	2845.1	2544.4	2030.4	2396.4	1862.3	1009.1	1417.3	318.0
	蒲焼き	トン	370.9	176.0	153.4	561.7	230.2	135.3	162.8	94.4	56.7	238.9	37.3
ニホンウナギ以外の種のウナギ	生きたうなぎ	トン	95.0	18.6	19.8	13.6	0.0	18.1	48.0	12.9	0.0	0.0	-
	蒲焼き(*17)	トン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		トン	1,828.6	1,061.4	1,064.8	3,420.4	2,774.6	2,183.8	2,607.2	1,969.7	1,065.9	1,656.2	355.4

#### 【記入上の留意事項】:

- ①ニホンウナギ及びニホンウナギ以外の種のウナギ別の輸出量を記入すること。
- ②ウナギ製品の輸出のタイプ・大きさの例としては、生きたうなぎ、冷凍、冷蔵又は蒲焼きがある。
- ③該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力し、ゼロの場合は「0」を入力する。
- ④ウナギ製品の単位は可能な限り重量(キログラム又はトン)とする。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*16 2022年のウナギ及びウナギ製品の輸出データは1月1日から3月31日までの値。

\*17 財政部関務署の統計及びCCC(輸出入品分類)コードによると「ニホンウナギ以外の種のウナギ」の「蒲焼き」の統計はない。

様式10. 自国・地域におけるニホンウナギのシラスウナギ・稚ウナギ(クロコ)及びウナギ成魚の平均的な重量及び体長(\*18,19)

	単位	漁獲時	池入れ時	輸入時	輸出時
シラスウナギ	重量(g)	-	-	-	-
	体長(cm)	-	-	-	-
稚ウナギ(クロコ)	重量(g)	-	-	-	-
	体長(cm)	-	-	-	-
ウナギ成魚	重量(g)	-	-	-	-
	体長(cm)	-	-	-	-

【Notes】:

①シラスウナギ、ウナギ稚魚及びウナギ成魚別の重量及び全長を入力すること。

②データは平均値や一定範囲の値(例:〇〇~〇〇)を入力することができる。平均値を入力できる場合は、①の平均重量及び体長の数値が、生物学的な基準又は行政上の基準又は業界団体等からの聞き取り等による数字であることを脚注に明記すること。

③ 該当がない場合又はデータが無い場合は「-」を入力する。

④「体長」とは吻端から尾骨の後縁までの長さをいう。

○脚注(各国・地域のデータ記入上の備考を記入する。):

\*18 チャイニーズ・タイペイのウナギ養殖産業は複数の飼育段階や種苗の保管期間が長いなど特徴的であるため、平均重量及び体長の統計はない。

\*19 財政部関務署の統計によると、CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。

●データの出典・収集又は算出方法(※様式1から様式10に記入したデータの出典等について記入。)

1. シラスウナギの漁獲量	シラスウナギの漁獲量のデータは、漁業統計年鑑に由来する。漁会を通して地方行政区がデータを収集し、漁期毎に漁業署へ報告する。不合理な点があった場合、漁業署は地方行政区へ再点検・再確認を依頼する。その他、種(うなぎ類)のうち大多数はニホンウナギであるが、少数のその他のうなぎ類が含まれる可能性がある。 シラスウナギの漁獲量データの原単位は尾数であり、5,000尾/Kgにて重量換算している。その他、漁期は2011年に導入された。原データの条件を遡って調べることは困難なため、合理的なデータのみを記載する。2013年のデータは推定値であり、確定後に修正する。
2. 稚ウナギ(クロコ)の漁獲量	チャイニーズ・タイペイには稚ウナギ(クロコ)の漁獲量のデータに関する統計はない。
3. ウナギ成魚の漁獲量	チャイニーズ・タイペイにはウナギ成魚の漁獲量のデータに関する統計はない。
4. シラスウナギに対する漁獲努力量	シラスウナギを捕ることを許可された漁船の隻数。
5. 稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量	チャイニーズ・タイペイには稚ウナギ(クロコ)に対する漁獲努力量のデータに関する統計はない。
6. ウナギ成魚に対する漁獲努力量	チャイニーズ・タイペイにはウナギ成魚に対する漁獲努力量のデータに関する統計はない。
7. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の養殖池への池入れ量	ニホンウナギ及びその他のうなぎのデータは、台湾区鰻魚発展基金会在、会員からの池入れ量の報告に基づき取りまとめたもの。
8. ウナギの養殖生産量	
9. ニホンウナギ養殖産業の規模	養殖産業の規模は養殖面積(ヘクタール)で示す。養殖面積のデータは、漁業統計年鑑に由来する。市町村事務所による口頭調査を通して地方行政区がデータを収集し、漁期毎に漁業署へ報告する。不合理な点があった場合、漁業署は地方行政区へ再点検・再確認を依頼する。2013年のデータは推定値であり、確定後に修正する。



10. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸入	輸入データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。
11. ウナギ及びウナギ製品の輸入	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、03019210101(生きたニホンウナギ)、16041700125(うなぎ調整品)、16041910130(うなぎ蒲焼き)、03019210904(うなぎ類)、03019929307(オーストラリアウナギ)及び03019210209(マルモラータ)である。なお、2013年以降、CCCコードのうなぎ調整品は16041700116へ、うなぎ蒲焼きは16041700125へ変更された。
12. ウナギ種苗(シラスウナギ及び稚ウナギ(クロコ))の輸出	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。
13. ウナギ及びウナギ製品の輸出	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、03019210101(生きたニホンウナギ)、16041700125(うなぎ調整品)、16041910130(うなぎ蒲焼き)、03019210904(うなぎ類)、03019929307(オーストラリアウナギ)及び03019210209(マルモラータ)である。なお、2013年以降、CCCコードのうなぎ調整品は16041700116へ、うなぎ蒲焼きは16041700125へ変更された。
14. ニホンウナギの平均的な重量及び体長	輸出データは財政部関務署の統計に由来する。CCC(輸出入品分類)コードは、3019220109(シラスウナギ(1kgに5,000尾以上))、3019220207(うなぎ稚魚(1kgに501-5000尾))及び3019220305(若齢うなぎ(1kgに11-500尾))。